

茨城県知事 大井川 和彦 様

洞峰公園パークPFI事業に関するアンケート結果に基づく  
代替案（利用料金値上げ）の導入及び協議会の設置について（要望）

日頃より県政の御発展に御尽力いただいていることに御礼申し上げます。

さて、現在茨城県が計画している洞峰公園のパークPFI事業に対してつくば市は、事業者の選定会議等複数の機会を通じてグランピング施設やバーベキューガーデンを中心に懸念される点について意見をお伝えしてきました。

また、洞峰公園のパークPFI事業について、県と市で協議し県民・市民の声をしっかりと聞くということで合意しています。

この度、県より提供いただいた、第1回アンケート及び第2回アンケートのデータをもとに、市が精査を行った結果、第1回アンケートにおいては、「計画全体に対する評価」について約87%が「改善すべき点がある」と回答しています。

その中で、約95%の方が、グランピング施設に関する計画の改善を要望しています。また、県が説明会やアンケート等で「パークPFI事業ができない場合に想定される代替案（料金の値上げ）」については、「良い」「どちらかと言えば良い」との回答が50%を超えています。

令和4年7月に茨城県主催の説明会においてパークPFI事業ができない場合に想定される代替案として1.6倍の料金値上げと説明され、アンケート用の資料にもその旨が示されていました。通常、利用料金の値上げについては反対されることが多い中、回答者の半数以上が値上げに対して賛成と回答していることは特筆に値すべきことです。アンケート結果からは、パークPFI事業の実施ではなく、利用料金の値上げをすることが、県の財政負担となっている維持管理費を確保するという点でも、利用者や地域住民にとってもこれまでの洞峰公園の環境が維持されるという点でも望ましい解決策であることが明確に示されました。

また、利用者や有識者の声を聞き、公園のあり方を考えることは重要であり、そのような議論の場として協議会を設置することが望ましいと考えております。県におかれましては、当初より県が示されていた利用料金の値上げをする代替案の採用、及び、従前から市としても要望しております協議会の設置について御検討いただきますようお願い申し上げます。

なお、当初は7月の説明会と7月から8月に実施された説明会での意見とアンケート結果を県と市双方で確認し今後の方針について協議する合意をしておりましたが、県から「回答者に偏りがある」との考えのもと、当初予定になかった追加のアンケートが実施される方針が示されました。追加のネットモニターによるアンケートでは、県民1,000人の方を対象として調査が行われましたが、そもそも回答者の洞峰公園に対する認知度や利用回数に関する設問もなかったため、アンケート結果

の重みは1回目のものとはまったく比較できないものと考えております。

以上を踏まえ、下記事項について改めて御検討いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 パーク PFI 事業の改善を求める声が 87%、県が代替案として当初より示していた値上げ案に賛成する意見が半数を超えたアンケート結果を踏まえ、県が当初よりパーク PFI 事業ができない場合に想定される代替案として提示していた値上げの案を採用すること
- 2 洞峰公園のあり方について、広く利用者・地域住民・有識者・県・市が議論をする場として協議会を設置すること

以上

令和4年(2022年)11月22日

つくば市長 五十嵐 立

